

妊婦歯科健診のススメ

～ 安定期に入ったら早めに受診～



妊娠中におきやすい口の中のトラブル

1 妊娠すると歯周病になりやすい



妊娠すると、ホルモンバランスによって歯周病（歯肉に炎症がおきたり、腫れたりする）に罹患しやすくなります。歯周病に罹患していると、早産のリスクも高まるので、早めに受診して治療しておくことで安心です。

2 つわりの影響等により、むし歯になりやすい

①吐き気がひどく、歯磨きが十分できない、②嘔吐による胃酸の逆流、③偏食になりやすい、④食事を普段より頻繁に摂取するようになる、などの理由により、むし歯になりやすい。



生まれてくる赤ちゃんのために



生後間もない赤ちゃんの口の中には、むし歯菌は存在しません。赤ちゃんにむし歯菌をうつさないためには、お母さんやお父さんなど周りにいる人のむし歯を治して、口の中のむし歯菌の量を減らしておくことが大切です。

いつ頃受診するとよいの？

一般的に安定期とよばれる妊娠 16 週以後が良いとされています。必ず妊娠していることを歯科医師に伝えて受診しましょう。

かかりつけの産婦人科の診療時間内に受診するとより安心です。

妊娠 27 週を超えるとお腹が大きくなり、歯科用の椅子にすわることが大変になるため、治療の必要な箇所がある場合は、それまでに治療が完了するようにしましょう。



産後は、育児に忙しく、歯科受診が難しいこともあるので、必要な治療や予防処置などを済ませておきましょう。